

校 訓		
質実・勤敏	謙讓・優雅	自律・協同

本校の教育目標
人格の完成を目指し、基本的な知識と教養を身に付け、豊かな情操及び健やかな身体を備えた均衡の取れた人間を育成する。また、正義と責任を重んじ、公正な判断力とたくましい実践力をもって自己の実現を目指す態度を身に付ける。更に、個人の価値を尊重し自主・自立の精神を養うとともに、自他の敬愛と協力及び公共の精神に基づき主体的に社会参加しその発展に貢献できる国民を育成する。
「志教育」の目標
①自己理解を図り、社会と協調する資質の育成。 ②進路目標を具体化し、進路実現に向けて計画的・主体的に行動できる実践力の育成。 ③自己実現に向けて、自己の在り方や生き方を主体的に探究する能力の育成。

生徒の実態, 教師の願い
・生徒は明るく実直で、校内では意欲的な挨拶が見られ、ボランティア活動などにも積極的に取り組んでいる。 ・生徒が自ら学ぶ意義を理解し、意欲を持ち主体的に進路を選択し実現できることを期待している。

保護者や地域の願い
・PTA活動などを通じて学校と家庭が連携するとともに、地域に根ざしたボランティア活動や学校の諸活動を推進する開かれた学校であって欲しい。 ・生徒の自主性・自立心を育てるために、生活面や学習面で生徒の活動を支援する学校であって欲しい。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
○様々な人とのコミュニケーションの重要性を理解させ、実践的な力を身に付けさせる。 ○自己理解と他者理解を深化させ、よりよい人間関係を築く能力や社会性を養わせる。	○職場体験や大学体験入学などの体験活動を通じて、自己の適性を踏まえた将来の職業と自己の生き方を考えさせる。 ○自己実現に向けて、進路目標を明確にさせ、自己の在り方や生き方を探究させる。	○進路目標を考える中で、自己と社会との繋がりに着目し、自己の在り方を考察させる。 ○ボランティア活動や職場体験・訪問などの体験を通じて、社会の中での自己の役割を考え、地域社会の発展に貢献する在り方を考察させる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	各教科の学習において、基礎的・基本的な知識の定着を図るとともに、生徒の能力に即した効果的な指導法を取り入れることにより、学習意欲を高め、学力の向上を図り、生徒の達成感を高める。
道徳	基本的な生活習慣と節度ある生活態度を身に付け、社会的規範を意識できるようにするとともに、公正な道徳的判断力の基盤を確立する。また、自己と他者の価値を認識し、相手を思いやる精神と協調性を養う。
／総合学習的な時間	探究の見方・考え方を働かせ、社会と自己との繋がりを理解し、望ましい人間関係の在り方を学ぶとともに、自己実現に向けて自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。
特別活動	各生徒が生徒会の一員として学校行事に主体的に取り組むことで、目的意識の共有と協同の重要性を自覚させ、生徒相互の連帯感を育てるとともに、自律心と公正な判断力を涵養する。
その他	生徒会を中心とする「涌高ふれあい隊」や「絵本読み聞かせ実習」など、各種ボランティア活動を奨励することで、地域社会への貢献と公共心を育むとともに、自己の有用感を高める。

各学年の取組内容	
1年	①高校生活の目標設定 ②地域企業探究 ③外部講師講話 ④校外清掃ボランティアの実施（学年全体） ⑤強化勉強会・課外講習の実施 ⑥Public Relations
2年	①進路目標の設定と進路計画の立案 ②地域とSDGs ③外部講師による進路ガイダンスの実施 ④卒業生による進路講演会の実施 ⑤強化勉強会・課外講習の実施 ⑥修学旅行に係る事前・事後学習会 ⑦親になるための教育推進事業（ワークショップ）の実施
3年	①進路別ガイダンスの実施 ②校内及び外部講師による小論文及び面接指導 ③外部講師によるマナーアップ講座 ④志望理由書・履歴書の作成指導 ⑤強化勉強会・課外講習による実力養成（進学希望者） ⑥就職希望先の事前見学会（就職希望者） ⑦Public Relations

家庭との連携
進路希望実現に向けて資料を提供するとともに、自己実現に向けて社会性を身に付けるために、PTA活動や面談などを通じて家庭との連携を図る。

地域・企業との協働
地域ボランティアへの参加などを通じて、社会に貢献する姿勢などを示唆いただくとともに、地域企業探究を通して、職業観や社会生活に必要な資質について学ぶ。